

町勢功労者 6人を表彰 長年の功績をたたえて

長年にわたり町政の推進に功労のあつた方を表彰する、令和2年度町勢功労者表彰式が1月18日、役場5階委員会室で行われました。本年度は、自治や体育など4分野で町の発展に貢献した6人の方々の功績をたたえました。受賞された皆さんは、左記のとおりです。(年齢は表彰式時点)



体育功労
菊地 光明 さん
(船越・68歳)

県相撲連盟の理事や段位審査部長、副理事長などを歴任。平成24年から町相撲協会副会長を務め、平成29年からは同連盟と町体育協会の副会長としてスポーツの振興・発展に取り組まれています。



自治功労
黒沢 一成 さん
(船越・57歳)

平成15年から町議会議員となり、現在5期目。議会総務常任委員長や議会改革検討特別委員長を歴任されました。現在は議会運営副委員長としてその職務にあたり、町政の発展に尽力されています。



消防功労
糠森 泉 さん
(織笠・72歳)

昭和44年から町消防団第5分団団員として51年の長きにわたり、消防業務に精励。分団長や本部副団長などを歴任し、平成26年からは本部分団長として町の消防活動に尽力されています。



体育功労
佐藤 宏光 さん
(釜石市・67歳)

山田高校在学時ボート選手としてインターハイと国体に出場。町および県ボート協会の理事を長年務められ、昭和63年からは日本ボート協会公認審判員としてボート競技の発展に活躍されています。



治安功労
山崎 虎一 さん
(船越・83歳)

平成5年から町防犯隊として22年の長きにわたり、地域防犯活動や防犯思想の普及高揚に貢献。平成29年からは町防犯協会理事として同隊を支え、安全で住みよい町づくりのために活躍されています。



治安功労
箱石 誠 さん
(大沢・70歳)

町防犯隊として平成6年から現在まで地域防犯活動や防犯思想の普及高揚に尽力。暴力追放運動や広報車によるパトロール、青少年健全育成活動など地域安全活動に積極的に取り組まれています。

(公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会ほか3団体が主催する第68回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で宮古高校定時制4年の黒沢知花さんが、全国最高賞である文部科学大臣賞に輝きました。同大会は、定時制通信制に通う生徒が学校生活を通じ、感じたり学んだりした貴重な体験を作文

全国生活体験発表大会 黒沢知花さんが最高賞



黒沢 知花 さん
(船越・19歳)

にまとめ発表し、多くの人々に感動と励ましを与えようと言われていたのです。今回は全国から58人が選出され、作文の審査が行われました。

黒沢さんは「個性を見つめて」と題し、中学生時代の苦悩や葛藤、高校生活の中で見つめ直した「自分らしさ」や「個性の尊重」について発表しました。「受賞を知ったときは、驚きのあまり信じられませんでした。家族も驚いていましたが一緒に喜んでくれました」と、にっこり。

今年の4月からは、北上市の専門学校に通い、介護士を目指す黒沢さん。「その人らしさを尊重し、その人の生活に合ったサポートができる介護士になりたいです。いつかは山田で働きたいです」と、今後の目標を話してくれました。